

科目名/提供大学名	地域研究概論 / 仁愛大学
科目名(英文)	Introduction to Area Studies
対象学年	1年生(但し、その他学年も可)
開講時期	前期
単位数	2単位
科目区分	選択
授業形態・開講形態	講義(一部フィールドワーク)
担当教員名	升田 法継
オフィスアワー	開講期間の毎水曜日13:00~14:30(仁愛大学・E105)
教員メールアドレス	—
概要	地方創生の取り組みが推進される今日において、地域の魅力とは何か・地域ビジョンについて問われる時代になっている。授業では、地域研究の基本的な考え方について紹介・解説するとともに、現地へ足を運び、見る・聞く・肌で感じる体験を通して、地域の実態を知り、地域の将来を構想する能力の向上を狙いとする。
学習・教育目標との関連	—
授業目標・目的	地域の実態を知り、地域の将来を構想する能力の向上を狙いとする。
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態および課題について説明することができる。 ・地域はどうあらねばならないか、望ましいのかを主張することができる。
授業計画・授業内容	第1回:オリエンテーション 第2回:地域研究と多文化理解 第3回:地域研究とグローバリゼーション 第4回:地域研究と将来構想 第5回:事前調査 第6回:調査計画 第7回:現地調査① 第8回:現地調査② 第9回:調査結果の整理 第10回:調査結果の発表 第11回:地域のリソース① 第12回:地域のリソース② 第13回:レポート・レジュメの作成 第14回:レポート発表 第15回:まとめ
授業方法	地域研究の基本的な考え方について紹介・解説するとともに、現地へ足を運び、見る・聞く・肌で感じる体験を通して、地域の実態把握なども行う。
キーワード	地域の魅力、地域の将来構想、地方創生
教科書	使用しない。
参考書	必要に応じて、授業中に紹介する。
評価方法・評価基準	課題に対する活動内容・提出物(70%)、平常点(30%) ※平常点:授業への参加状況・受講態度などを統合して判断するもの
関連科目	?
履修の要件	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性をもって考え、行動する姿勢を有していること。 ・他人の行動や意見を見聞きし、そこから学ぼうとする姿勢を有していること。
必要な事前・事後学習	予習として、各回授業の終わりに、次回授業に向けての予習ポイントを提示するので、あらかじめ疑問点を考えておくなどし、問題意識をもって授業に出席するようにすること。また、復習として、各回授業時の板書や配付プリントを基に要点を整理・再確認するなどし、次回授業に臨むこと。
その他・注意事項	第7回・第8回は土曜日3限目・4限目にアオッサで開講するが、他は仁愛大学で開講する。また、リアクション・ペーパー(学生作成)の内容については、授業においてフィードバックする。なお、「授業計画・内容」については、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合がある。